



一時集合場所で避難者カードを記入する町民

# 1市3町合同で実施 有珠山噴火総合防災訓練

**有** 珠山噴火を想定した総合防災訓練が10月3日、洞爺湖町、伊達市、豊浦町、壮瞥町の1市3町合同で行われました。

訓練全体では、住民や行政、消防、警察、自衛隊など総勢777人が参加。洞爺湖町からは、290人の住民や観光客が参加しました。

昭和52年噴火から40年が経過した節目でもあることから1市3町合同での広域的な訓練を実施。主会場の豊浦ふるさとドームには合同災害対策本部が設置されました。

有珠山の噴火警戒レベルが3から4に引き上げられ、合同災害対策本部で避難指示を決定し、9時30分に3市町で一斉に避難指示を発表したとの想定で訓練を開始。消防サイレンの吹鳴、防災行政無線、広報車、緊急速報メールで避難を呼びかけました。

避難対象地域は、山頂噴火を想定し、有珠山噴火ハザードマップの火砕サージ危険区域である町内16自治会5279人が対象となりました。



豊浦ふるさとドームに設置された合同災害対策本部

た。

住民らは、徒歩で一時集合場所に集まり、避難者カードの記入や施設を確認。町内や伊達市、豊浦町の各避難所にバスで移動し、自家用車で移動可能な人は避難所へ直接向かいました。主会場の豊浦ふるさとドームには、訓練に参加した住民らが次々と到着し、自衛隊によるカレーライスの炊き出しを食べ、地震体験車や消火訓練に参加しました。

入江1区の山田 晃防災部長は、「事前の自治会での活動が功を奏し、地域から多く

の参加があった。これからも一層住民への意識付けを続けていきたい」と今回の訓練を振り返りました。

訓練を終えて真屋町長は、「2000年噴火で96%の町民が避難した経験から、長期避難を想定し、日頃から貴重品を持ち出せるように準備をしてほしい」と述べました。

## 外国人観光客を 想定した訓練も実施



バスで豊浦ふるさとドームに向かう外国人観光客

洞爺湖温泉では、北海道運輸局主催で外国人観光客の避難誘導を想定した訓練が初めて行われました。

9時30分の避難指示発令を受け、外国人観光客役の留学生25人が宿泊先の洞爺湖万世閣レイクサイドテラスから案内地図を頼りに一時集合場所の洞爺湖文化センターまで移動する訓練を実施しました。

### 訓練参加者の推移

### 今回の訓練

	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	対象者	参加者	避難率	対象者	参加者	避難率	対象者	参加者	避難率
温泉全区	1121	36	3.21%	1093	41	3.75%	1091	16	1.47%
泉区	815	39	4.79%	757	56	7.40%	746	47	6.30%
入江1区	1103	20	1.81%	1106	10	0.90%	1103	55	4.99%
入江3区	217	10	4.61%	193	7	3.63%	193	12	6.22%
入江4区	731	12	1.64%	713	38	5.33%	708	42	5.93%
虻田7区	316	0	0.00%	324	8	2.47%	319	8	2.51%
虻田8区	177	3	1.69%	141	1	0.71%	142	8	5.63%
虻田4区	338	6	1.78%	339	2	0.59%	332	12	3.61%
虻田5区の一部	80	3	3.75%	80	4	5.00%	69	0	0.00%
虻田6区の一部	665	28	4.21%	665	2	0.30%	569	16	2.81%
かっこう台の一部	5	2	40.00%	5	2	40.00%	7	1	14.29%
その他	—	—	—	—	1	—	—	73	—
合計	5568	159	2.86%	5416	172	3.18%	5279	290	5.49%